



WATTS
株式会社ワッツ

株式会社ワッツ(2735 東京証券取引所市場第二部)

2013年8月期決算と 2014年8月期業績予想について

2013年10月15日(火)

代表取締役社長

平岡 史生



目次

2013年8月期 連結決算について P 2 – P 15

2014年8月期業績予想及び
中期事業計画(2014年～2016年)について P 17 – P 28

(参考資料) P 30 – P 42

(単位:百万円)

	2012年8月期		2013年8月期		
		構成比		構成比	前年同期比
売上高	40,759	—	41,725	—	102.4%
売上総利益	15,591	38.3%	15,981	38.3%	102.5%
販売費および一般管理費	13,535	33.2%	13,906	33.3%	102.7%
営業利益	2,056	5.0%	2,074	5.0%	100.9%
経常利益	2,055	5.0%	2,075	5.0%	101.0%
当期純利益	1,177	2.9%	1,123	2.7%	95.4%
1株当たり当期純利益(円)	93.31		88.63		95.0%
1株当たり年間配当金(円)	15		17(予想)		—

(注)1. 予想は、2013年10月11日に公表した2014年8月期業績予想値。

2. 2013年3月1日に1:2の株式分割を実施しているため、1株当たり当期純利益並びに1株当たり年間配当金は遡及修正後の数値を記載。

- ☑ 新規出店の遅れと比較的小型の店舗が多かったため、売上高は前期比2.4%増に留まる。
- ☑ 売上総利益率は横ばい、販管費率は0.12ポイント悪化も、営業利益は前期比0.9%の増加。
- ☑ 当期純利益は減損処理を61百万円実施したため、前期比4.6%の減益となる。
- ☑ 2013年8月期の1株当たり年間配当予想は、東証二部への市場変更に伴う記念配当2円を加え17円。



2013年8月期 トピックス



- ✓ マレーシアに現地法人Watts Harrisons Sdn. Bhd.を独資にて設立(2012年10月)
- ✓ 1:2の株式分割を実施～投資単位当たりの金額を引き下げ、流動性の向上及び投資家層の拡大を図る目的(2013年3月)
- ✓ 中華人民共和国に独資での現地法人 上海望趣商貿有限公司の設立を発表(2013年4月。正式認可は2013年9月)
- ✓ 株主優待制度の導入を発表～2013年8月31日付の保有株式数に応じ、当社プライベートブランド商品「ワッツセレクト」の詰め合わせをお届け(2013年4月)
- ✓ タイ王国の現地法人を合併会社化～Thai Watts Co., Ltd.に現地総合小売業最大手であるセントラルグループ傘下の Central Department Store Limited社の資本参加を受け、今後の店舗展開を加速する体制を整える(2013年5月)
- ✓ 国内100円ショップの買収～中四国地方において100円ショップを運営する株式会社大専の株式の100%を取得し、連結子会社化(2013年6月)
- ✓ 東証第二部上場～東京証券取引所ジャスダック市場から市場第二部に上場市場を変更(2013年8月)
- ✓ 自己株式処分～上場市場変更とタイミングを合わせて、国内新規出店、既存店改装費用及び海外展開資金の取得を目的として、自己株式96万株の処分を実施(2013年8月)

事業部門別売上高の状況

(単位:百万円)

		2012年8月期		2013年8月期		
			構成比		構成比	前年比
100円ショップ	直営	33,446	82.1%	34,992	83.9%	104.6%
	卸その他	4,663	11.4%	4,015	9.6%	86.1%
新業態等	BuonaVita	2,648	6.5%	2,717	6.5%	102.6%
	バリュー100					
	ほろよい党					
	こものや(タイ)					
	あまの					
その他						
合計		40,759	100%	41,725	100%	102.4%

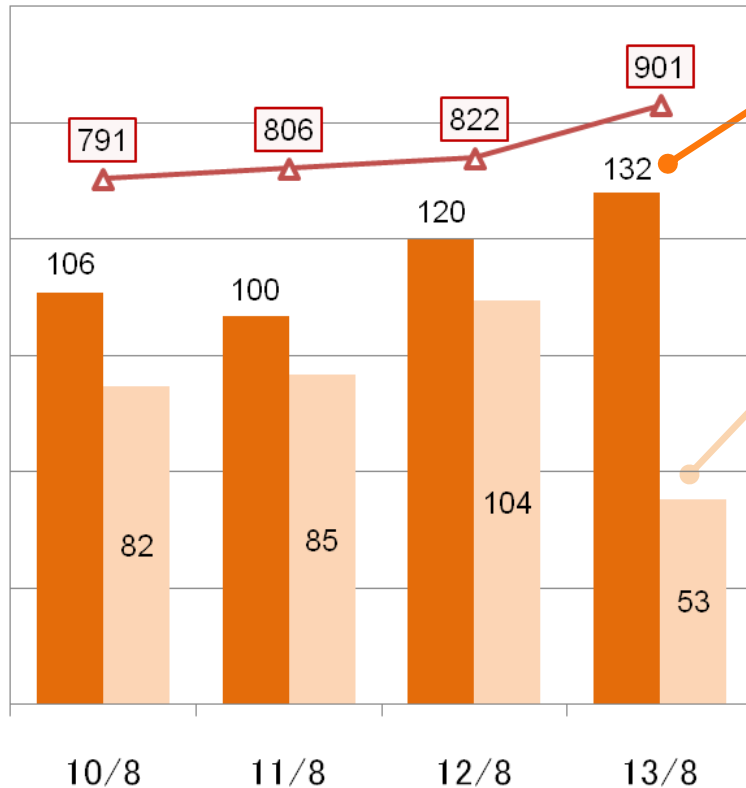
(注)100円ショップは、平成25年6月3日付にて取得した(株)大専含む。

- ☑ グループ売上高の中心は、これまでどおり100円ショップの直営部門。
- ☑ 100円ショップの卸売部門は、FC店舗数の減少等によりシェアの低下が続く。
- ☑ 新業態では、「ほろよい党」が期中撤退も、「BuonaVita」「こものや」は堅調。

期末店舗数は、901店舗（直営848 FC53）

100円ショップの店舗数推移

■ 出店 ■ 退店 ▲ 期末店舗数



出退店計画と実績

出店計画 103店舗 → 132店舗増加

閉鎖計画 37店舗 → 53店舗減少（内FC5店舗）

- ✓ 2013年8月期出店数には、平成25年6月3日付にて取得した(株)大専の直営店舗23店舗を含む。
- ✓ 退店した店舗の内、母店やテナントオーナーの都合によるものが増加傾向。

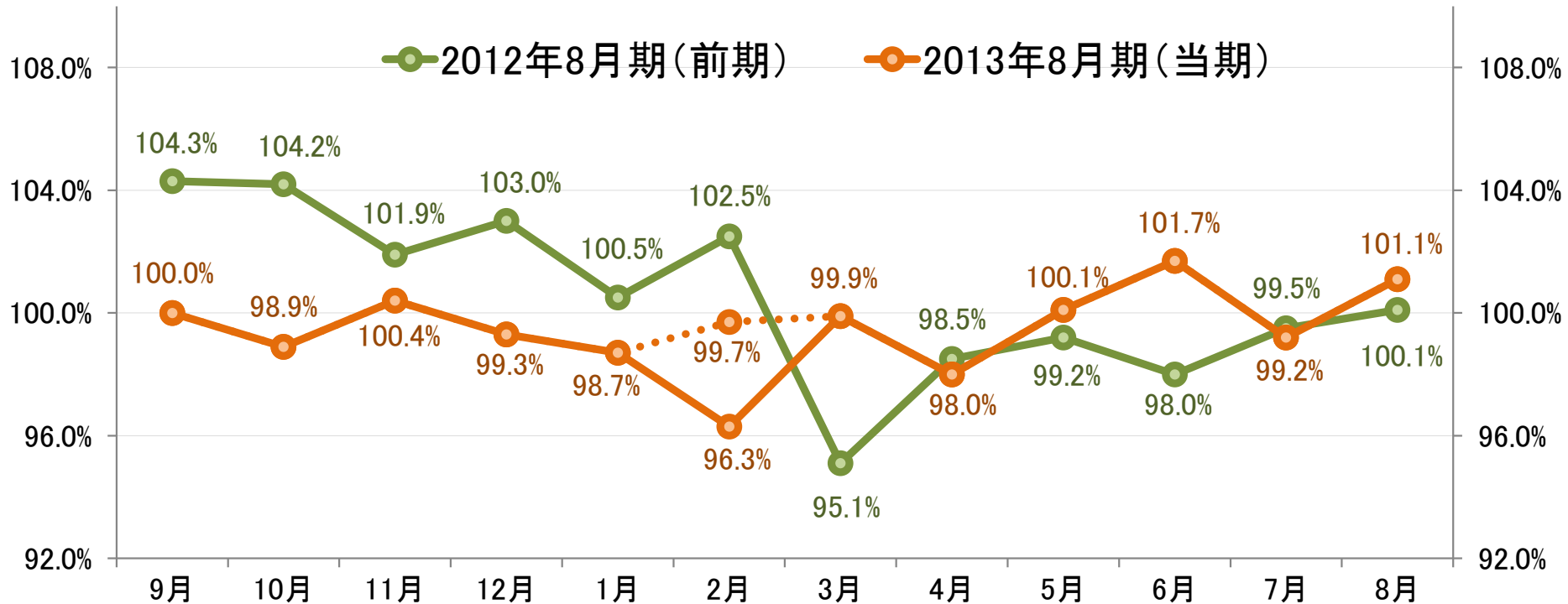
※ 足許2013年9月は出店20、退店7。



2013年8月期 連結決算 100円ショップ 直営既存店売上高伸び率



既存店売上高伸び率 99.5% ← (12年8月期 100.5%)

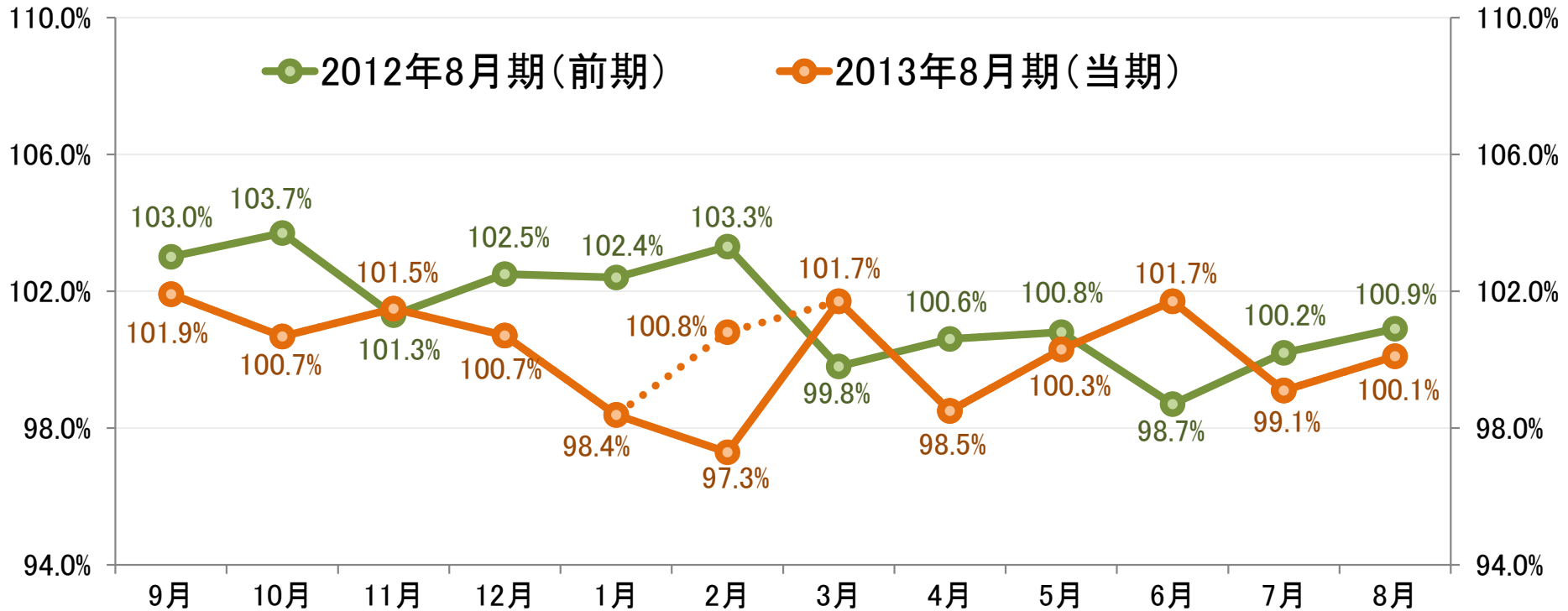


	上期	下期	通期
2012年8月期 (前期)	102.7%	98.4%	100.5%
2013年8月期 (当期)	98.9%	100.0%	99.5%
(※ うるう年調整後)	99.5%	100.0%	99.8%

✓ 2月度は昨年がうるう年のため、1日少ない営業日。
日数を調整した場合2月度は、99.7%。
通期は、前期にわずかにとどかず、99.8%。

※ 足許2013年9月は、101.3%。

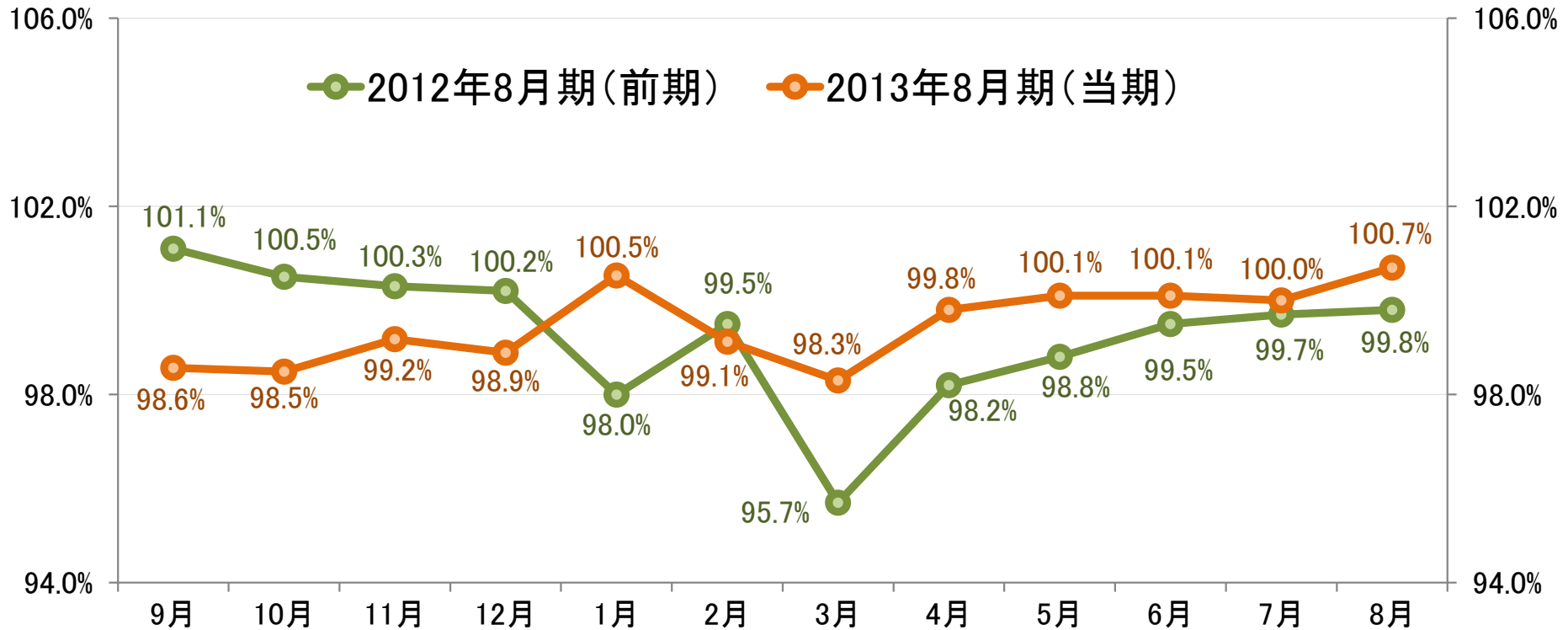
既存店客数伸び率 100.2% ← (12年8月期 101.4%)



	上期	下期	通期
2012年8月期 (前期)	102.7%	100.2%	101.4%
2013年8月期 (当期)	100.1%	100.2%	100.2%
(※ うるう年調整後)	100.7%	100.2%	100.4%

- ✔ 2月度は昨年がうるう年のため、1日少ない営業日
 ※日数を調整した場合、2月度100.8%、通期100.4%
- ✔ 堅調。顧客の誘導は継続してできている。

既存店客単価伸び率 99.5% ← (12年8月期 99.3%)

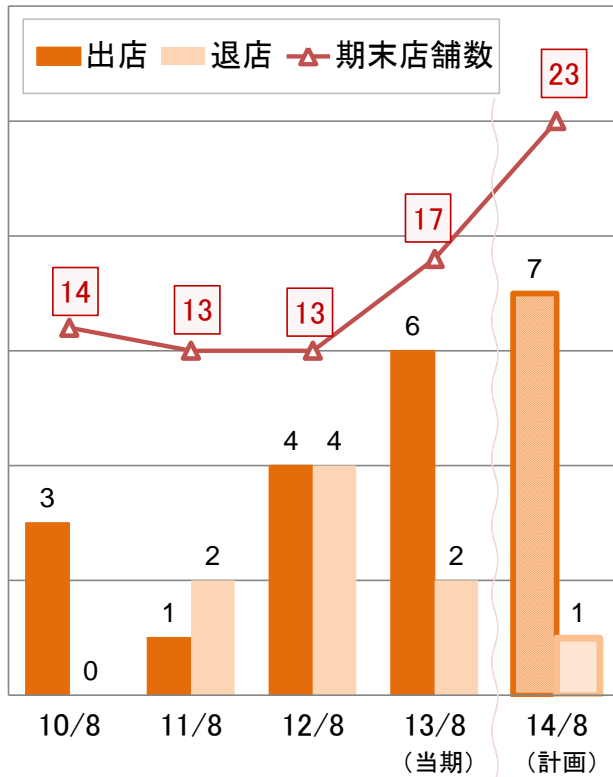


	上期		下期		通期	
	前年比	客単価	前年比	客単価	前年比	客単価
2012年8月期 (前期)	99.9%	356円	98.6%	353円	99.3%	354円
2013年8月期 (当期)	99.1%	353円	99.8%	352円	99.5%	353円

✔ 客単価の微減傾向は依然継続。客数は確保できているため、お買い得な商品開発により踏みとどまる努力を続ける。

— 新業態出退店推移 —

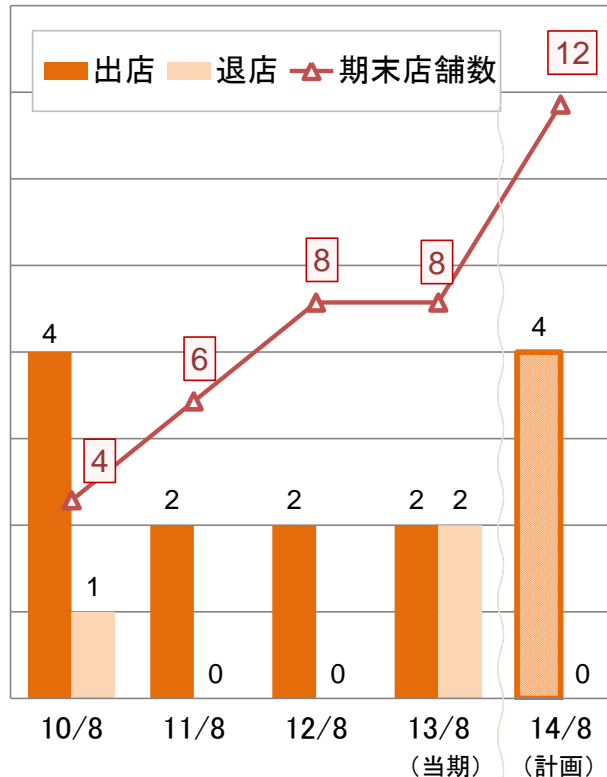
BuonaVita 店舗数推移



ブォーナ・ビィータ: 既存店伸率 107.6%

既存店前年比売上は大幅改善。震災後の不調から回復し、出店ペースを加速。

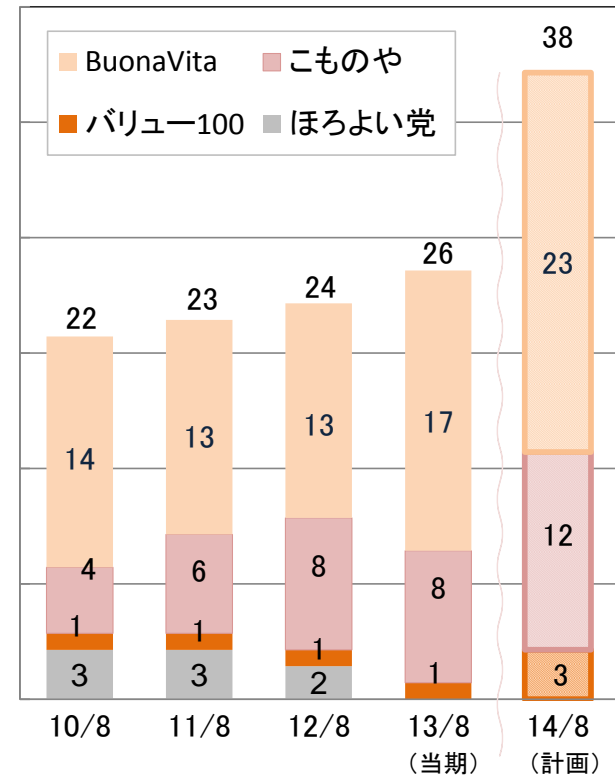
こものや 店舗数推移



こものや: 既存店伸率 112.9%

2013年5月にタイの総合小売業最大手のセントラルグループ傘下企業から資本参加を受け合併化。今後出店ペースを加速する。

新業態 店舗数推移



バリュー100: 既存店伸率 99.0%

依然利益は好調。引き続き出店を目指し、合併相手との調整を継続。

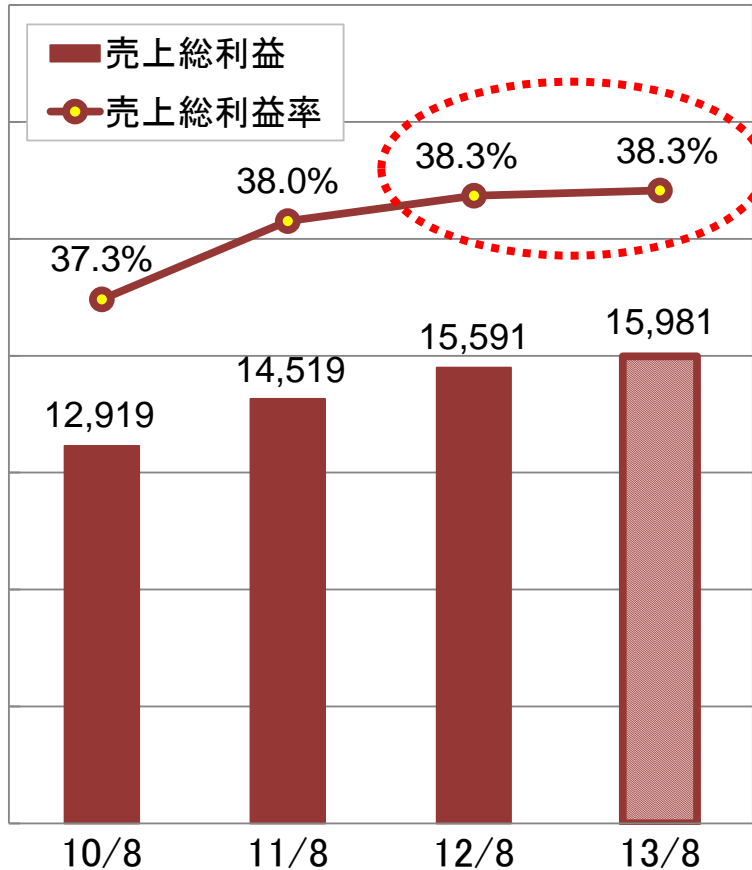
ほろよい党:

事業としての将来性見込めず撤退済。業績への影響はごく軽微。

売上総利益率は、前期並み

売上総利益

(単位:百万円)



円安傾向の影響は出つつあるも、直営店舗比率や売上高に占める雑貨比率の向上、また仕入努力により、売上総利益率は前期並みの水準を確保。

☑ 当社の仕入は、円建国内取引のため、為替の影響を直接は受けない。

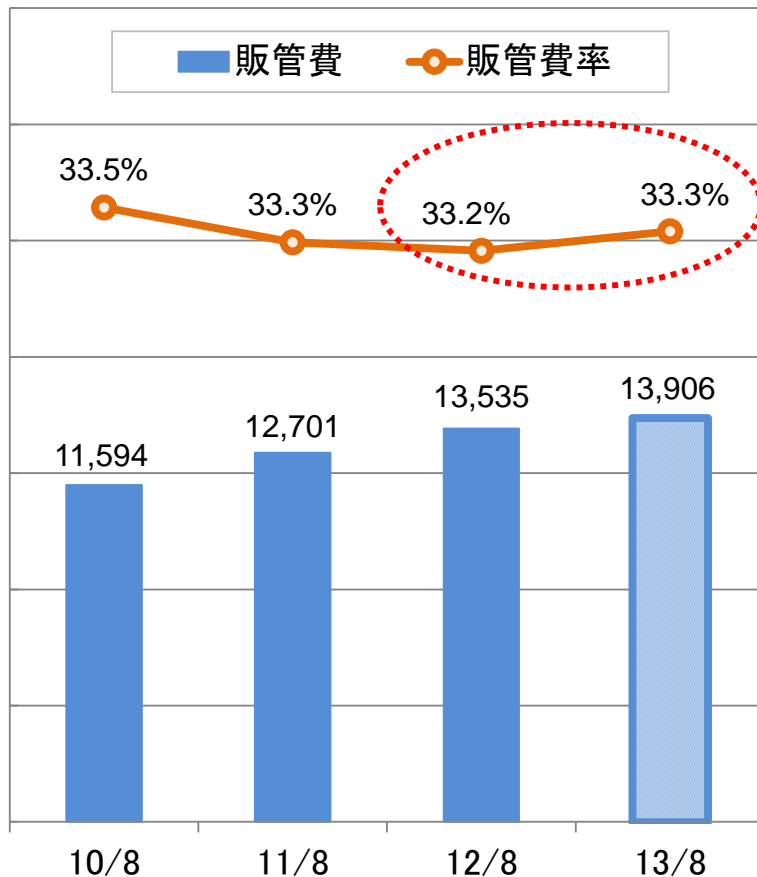
しかしながら、仕入先は取扱商品の多くを中国を始めとする海外から輸入しているため、今後とも間接的には為替の影響を受けることになる。
仕入先とも協力しながら、影響度合いを極力軽減させるべく努力していく。加えて上記の直営店舗比率と雑貨売上比率も継続して増加させていく。

販管費率は0.1ポイントの悪化

(単位:百万円)

販管費

(単位:百万円)



[内訳]	12/8	13/8	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	40,759	41,725	966	2.4%
販売費及び一般管理費	13,535	13,906	371	2.7%
給与(新規出店)	4,604	4,766	162	3.5%
地代家賃(新規出店)	4,518	4,676	158	3.5%
水道光熱費	757	816	59	7.8%
100円ショップ 直営店舗数(店)	765	848	83	11.1%

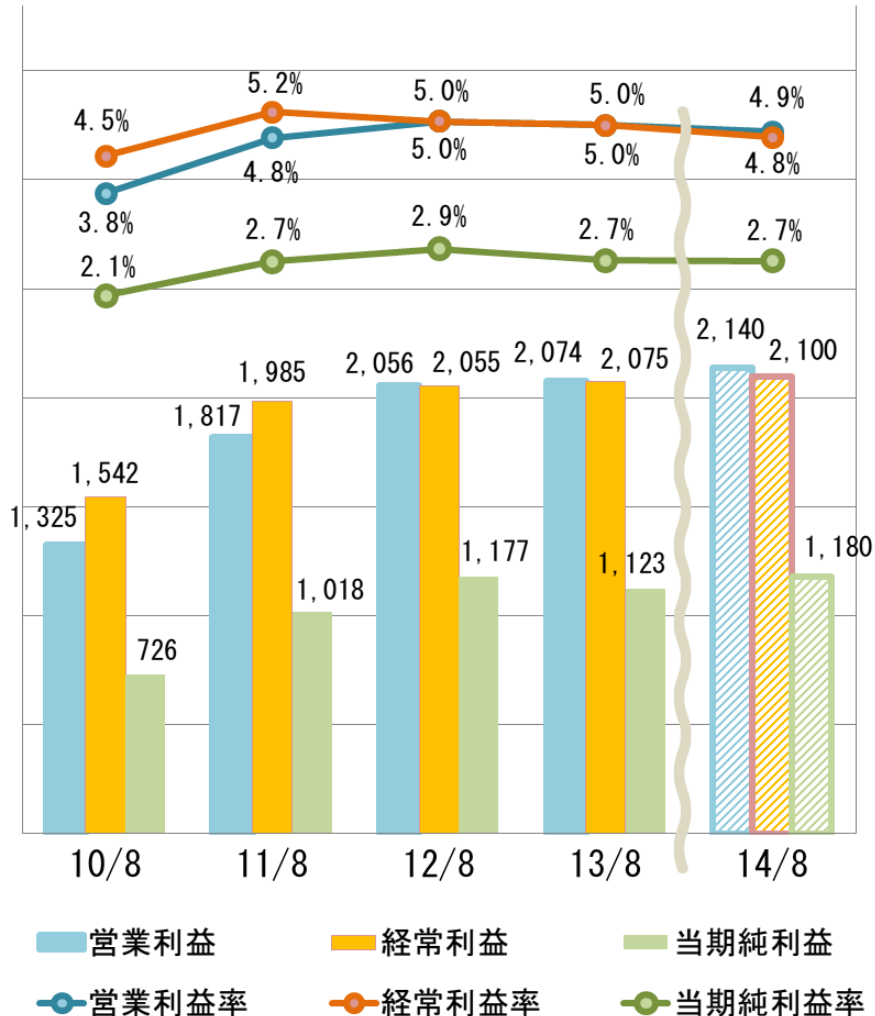
✓ 上期(H24.9月~H25.2月)は、32.7%であったが、下期(H25.3月~H25.8月)は、34.0%となり、結果通期で前期比0.12ポイントの悪化となった。



主因は新規出店並びに既存店の改修費用が増加したことと、(株)大専ののれんの一括償却を実施したこと。

利益の推移

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	12/8	13/8 (当期)	前期比増減
営業利益	2,056	2,074	0.9%
営業利益率	5.0%	5.0%	不変
経常利益	2,055	2,075	1.0%
経常利益率	5.0%	5.0%	不変
当期純利益	1,177	1,123	△4.6%
当期純利益率	2.9%	2.7%	0.2ポイント減

結果として、営業利益、経常利益は前期比微増、当期純利益は4.6%減となった。

2013年8月期 連結決算 — 貸借対照表 —

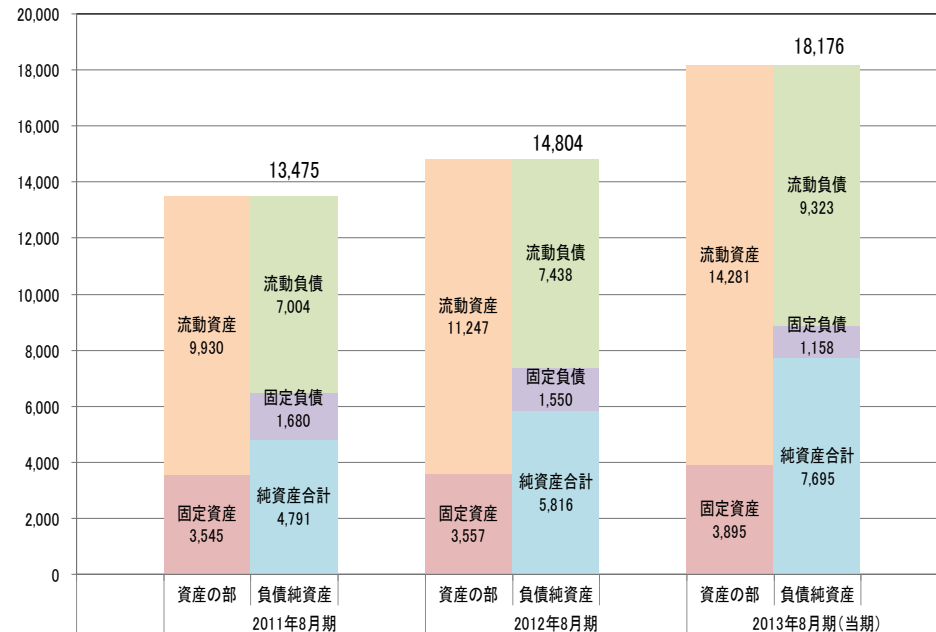
(単位:百万円)

	2011年 8月期	2012年 8月期	2013年 8月期 (当期)	増減額	前期比増減
総資産	13,476	14,805	18,177	3,372	22.8%増
流動資産	9,930	11,247	14,281	3,034	27.0%増
現金及び預金	3,039	4,086	6,280	2,193	53.7%増
受取手形及び売掛金	1,951	1,812	2,320	508	28.1%増
商品及び製品	4,363	4,633	4,961	328	7.1%増
その他流動資産	576	715	719	3	0.5%増
固定資産	3,545	3,557	3,895	338	9.5%増
土地建物	323	325	551	226	69.4%増
設備	470	451	449	△1	0.4%減
のれん	78	44	0	△44	100.0%減
差入保証金	2,441	2,450	2,474	23	1.0%増
その他固定資産	232	285	419	134	47.2%増
負債合計	8,684	8,988	10,481	1,492	16.6%増
流動負債	7,004	7,438	9,323	1,885	25.3%増
支払手形及び買掛金	4,225	4,433	6,578	2,145	48.4%増
短期借入金	140	140	140	0	0.0%増
1年内返済長期借入金	1,318	1,267	957	△309	24.5%減
未払法人税等	402	528	285	△242	45.9%減
未払消費税等	91	254	61	△192	75.8%減
その他流動負債	826	813	1,299	485	59.7%増
固定負債	1,680	1,550	1,158	△392	25.3%減
長期借入金	1,243	1,102	644	△457	41.5%減
資産除去債務	79	76	74	△1	2.5%減
その他固定負債	436	371	439	67	18.1%増
純資産合計	4,791	5,816	7,695	1,879	32.3%増
株主資本	4,794	5,831	7,656	1,825	31.3%増
資本金	440	440	440	0	0.0%増
資本剰余金	876	876	1,583	707	80.8%増
利益剰余金	3,765	4,783	5,716	933	19.5%増
自己株式	△287	△267	△84	183	68.6%減
その他包括利益累計額	△6	△15	38	54	353.5%増
新株予約権	2	—	—	—	—

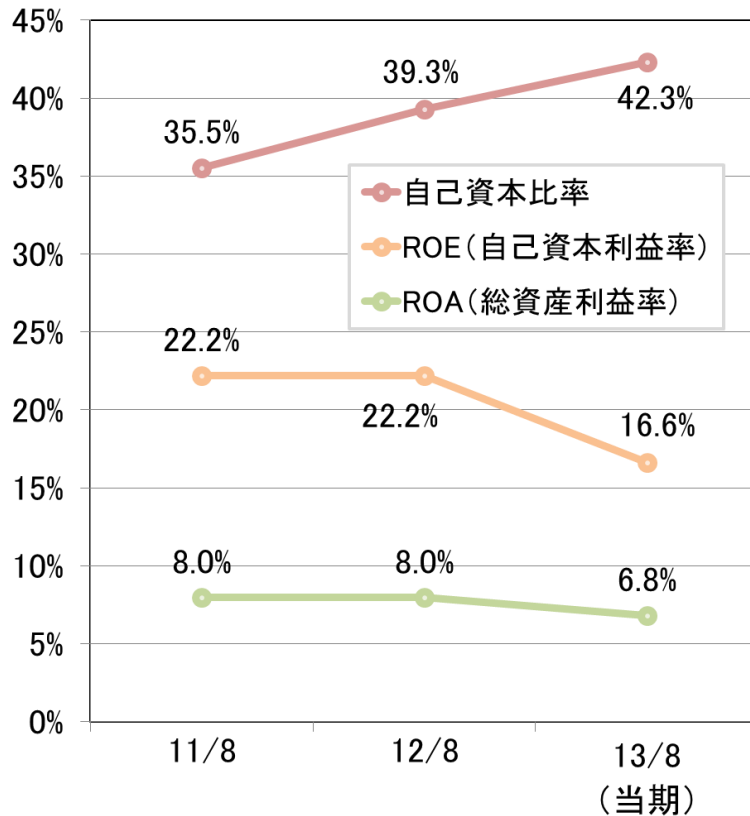
☑ 総資産額が3,372百万円増加。

期末近く実施した自己株式の処分及び、年度期末日(8/31)が金融機関の休日であったため、支払い日が翌月に延びたことにより現預金が大幅増加。

(単位:百万円)



2013年8月期 連結決算 一貸借対照表 指標一



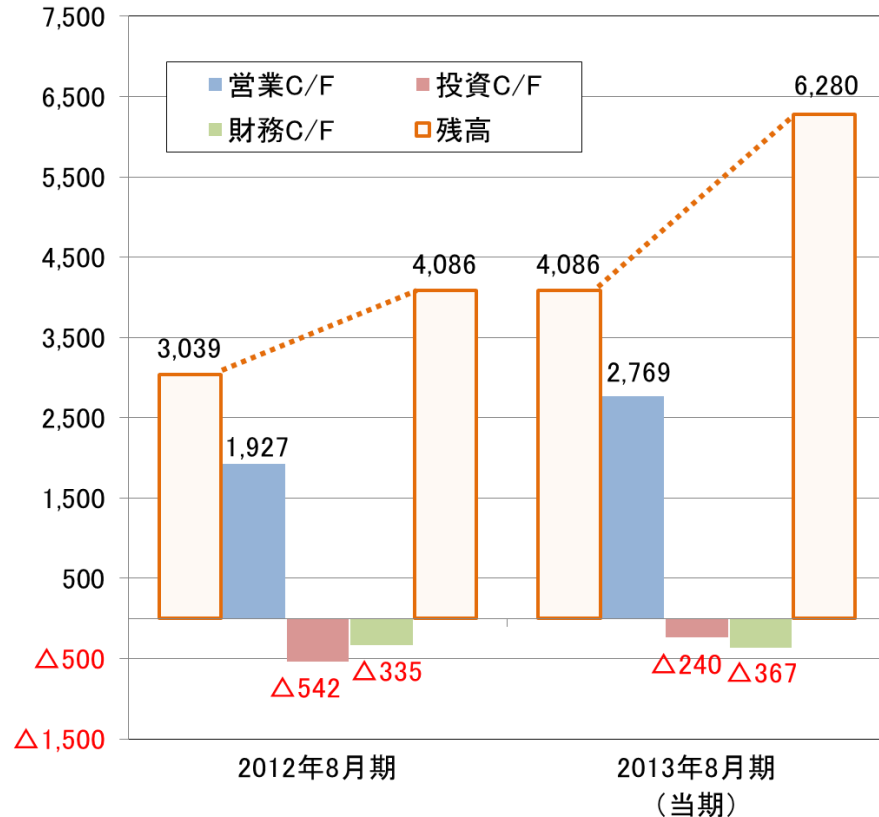
- ✔ 自己資本比率は、期末日近くに実施した自己株式の処分により純資産額が大幅に増加したことから、前期比3.0ポイント増加。
- ✔ ROEは同上理由により、前期比5.6ポイント減少。
- ✔ ROAは上記理由に加えて、年度期末日が銀行休業日であったため、現預金並びに未収金額の大幅増加を受け、総資産額が増加したことにより、前期比1.2ポイント減少。

	2011年8月期	2012年8月期	2013年8月期 (当期)	2012年8月期 対比増減
自己資本比率	35.5%	39.3%	42.3%	3.0ポイント増
ROE (自己資本利益率)	23.4%	22.2%	16.6%	5.6ポイント減
ROA (総資産利益率)	7.6%	8.0%	6.8%	1.2ポイント減

(単位: 百万円)

(単位: 百万円)

	2012年 8月期	2013年8月期 (当期)	増減額	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	3,039	4,086	1,047	34.5%増
営業活動による キャッシュ・フロー	1,927	2,769	842	43.7%増
税金等調整前当期純利益	2,059	2,055	△4	0.2%減
たな卸資産の増減額(△は増加)	278	237	△41	14.7%減
たな卸資産の増減額(△は増加)	△207	△246	△39	18.8%増
仕入債務の増減額(△は減少)	161	2,100	1,939	1204.3%増
未払消費税等の増減額(△は減少)	155	△190	△345	222.6%減
法人税の支払額	△833	△1,238	△405	48.6%増
その他営業キャッシュ・フロー	313	289	△24	7.7%減
投資活動による キャッシュ・フロー	△542	△240	302	55.7%減
財務活動による キャッシュ・フロー	△335	△367	△32	9.6%増
長期借入れによる収入	1,400	600	△800	57.1%減
長期借入金の返済による支出	△1,592	△1,669	△77	4.8%増
自己株式の売却による収入	13	891	878	6753.8%増
その他財務キャッシュ・フロー	△156	△189	△33	21.2%増
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	32	34	1700.0%減
現金及び現金同等物の期末残高	4,086	6,280	2,194	53.7%増



- ✔ 営業CFの増加要因は、年度期末日(8/31)が金融機関の休日であったため、支払い日が翌月に延びたことが主要因の「仕入債務の増加額 2,100百万円」及び「税金等調整前当期純利益 2,055百万円」によるもの。
- ✔ 財務CFの増加要因は、「自己株式の売却による収入 891百万円」、同減少は、「長期借入金の返済による支出 1,669百万円」によるもの。



目次

2013年8月期 連結決算について

P 2 – P 15

2014年8月期業績予想及び
中期事業計画(2014年～2016年)について

P 17 – P 28

(参考資料)

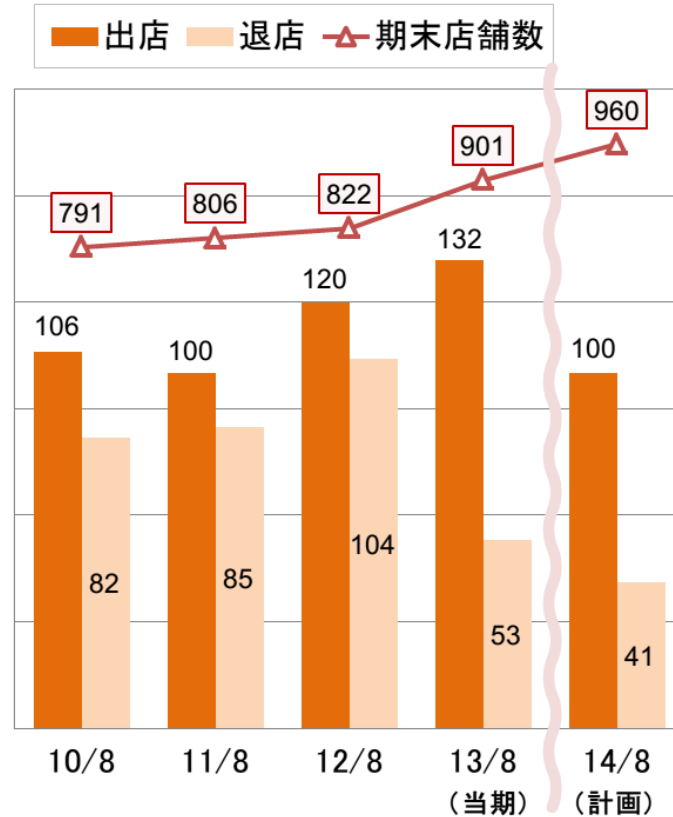
P 30 – P 42

2014年8月期 連結業績予想

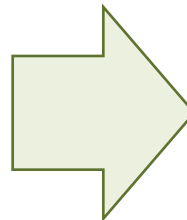
(単位:百万円)

	2013年8月期		2014年8月期(予想)		
	構成比	前期比		前期比	
売上高	41,725	—	102.4%	44,000	105.5%
売上総利益	15,981	38.3%	102.5%	—	—
販管費	13,906	33.3%	102.7%	—	—
営業利益	2,074	5.0%	100.9%	2,140	103.1%
経常利益	2,075	5.0%	101.0%	2,100	101.2%
当期純利益	1,123	2.7%	95.4%	1,180	105.0%
1株当たり 当期純利益(円)	88.63		95.0%	93.07	105.0%
1株当たり 年間配当金(円)	17		—	15	—

100円ショップの店舗数推移

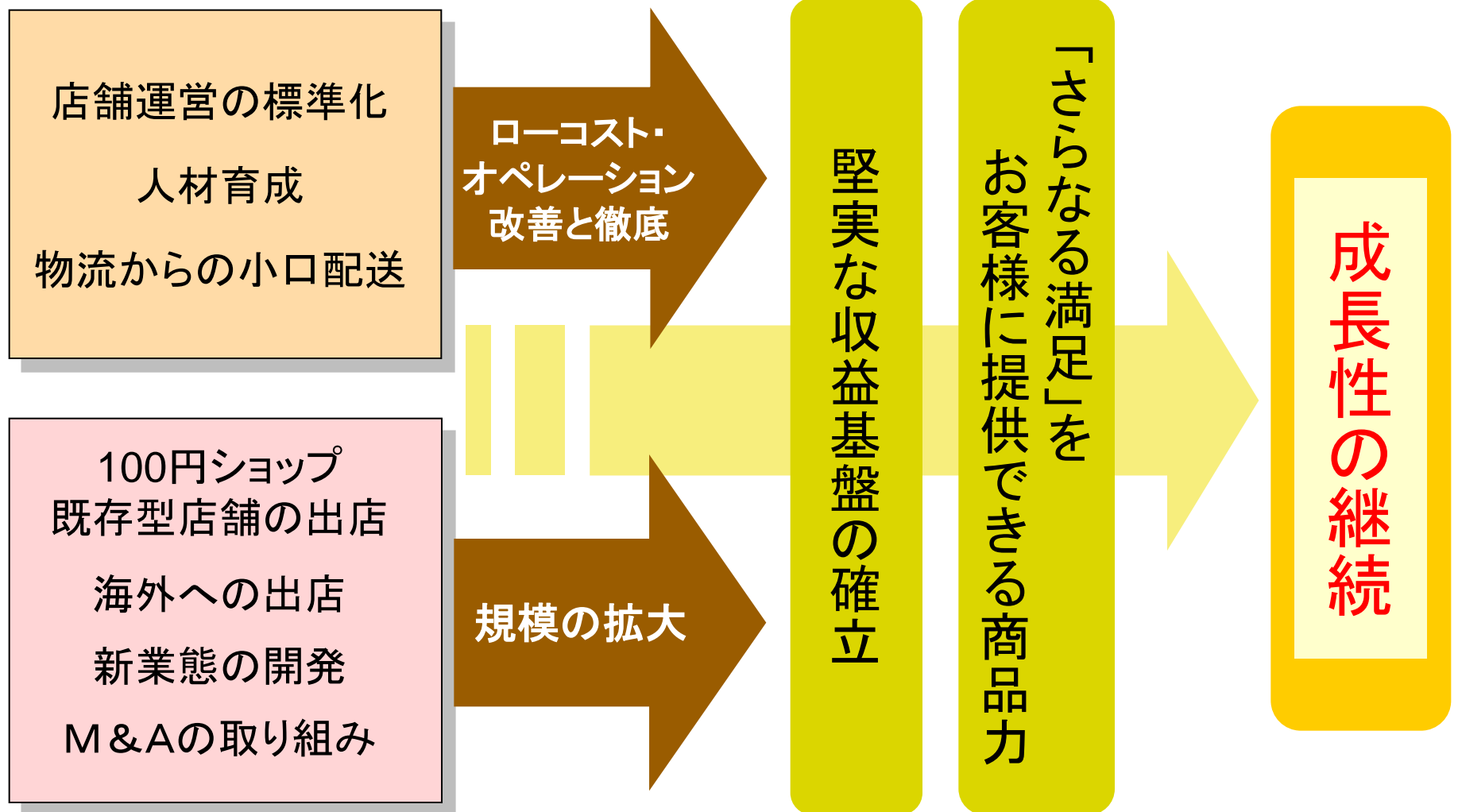


- ✓ 100円ショップ 純増59店舗
- ✓ 既存店の積極的なリニューアル
- ✓ 海外事業をはじめとした新業態の拡大



売上高・当期純利益率ともに、
5%の成長を目指します。

基本方針 —①成長性の継続—



基本方針 ー②宣言ー

実生活雑貨の分野において、
量・品質ともに圧倒的なお買い得感のある商品群を持つ
「実生活雑貨におけるNo.1企業」になり、
お客様から「実生活雑貨はmeets.・シルクで」
という評価を得られる小売企業を目指します！



100円均一の**実生活雑貨**で**満足度No.1**になる！



100円で「**100円以上の価値**」を提供し続ける！

国内

- 2012年11月を底に景気回復局面入り
- アベノミクスの一連の景気刺激策による株価上昇と円安の定着によるマインドの向上を受け、比較的堅調に推移。
- 引き続き東日本大震災の復興需要が見込まれることや大型の補正予算が盛り込まれる見込みであり、景気のリバウンド傾向は継続すると思われる。
- 2014年4月に実施される消費税率の引き上げは、直前の駆け込み需要が見込まれる一方で、実施後の反動減が予想されるものの、影響は限定的と思われる。

依然として雇用環境・世帯所得の改善には尚しばらく時間がかかる

100円ショップへのニーズは堅調

海外

- 欧米経済はとも緩やかな回復基調にある。
- アジア経済は中国が成長率鈍化しつつも、比較的堅調に成長持続することが予想されるが、アセアン諸国では成長の鈍化、インフレ高進と通貨安の進行により、国別に濃淡が出やすい状態ではあるが、購買力のある層は確実に存在する。

一層の成長のためには海外市場開拓と展開が必要

中期事業計画 — 経営戦略 —

基本戦略



出店戦略

地域特性に合わせたローコスト出退店

運営戦略

顧客サービスの質を維持したローコスト・オペレーション

商品戦略

お買い得感のある実生活雑貨を中心とした品揃え

国内 成長戦略

- インショップ型小型店舗の多店舗出店の継続
- 店頭適正在庫の追求
- 出店環境に対応した出店ロケーションの見直しと出店エリアの拡大
- PB商品「ワッツセレクト」の更なる競争力の強化
- 100円ショップ事業を補完する新業態の開発と収益性の追求
～含むM&Aの機会補足

海外 成長戦略

- タイワッツの出店ペース加速化
- マレーシアでの多店舗展開
- 中国でのビジネスモデルの確立と多店舗展開
- 中国物流倉庫の活用による調達コストの低減
- 徹底した市場リサーチに基づく、新規進出先の選定



基本戦略 — 当社100円ショップの強み —

1 ローコスト出退店

- ・ 新店への投資額が少ない
- ・ 退店時の損失が少ないため、迅速な撤退が可能

2 ローコスト・オペレーション

- ・ 運営コストが小さいため、低い売上高でも利益の確保が可能

3 お買い得な実生活雑貨

- ・ ローコスト運営で生み出した利益を商品開発へ投入

出店戦略 ーローコスト出退店ー

○ 中小型店舗を多店舗展開

- ✓ 平均230㎡（他社は330～1,000㎡）の店舗展開。
- ✓ 他社と競合しにくい物件のため、好条件で出店可能。
- ✓ 毎年約100店舗を出店。

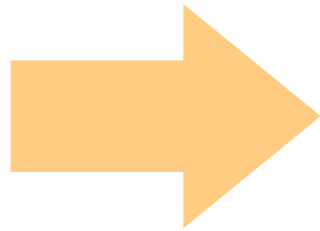
○ 不採算店舗の積極的な退店

- ✓ 資産を極力持たず、退店条件も緩く、迅速な判断が可能。
- ✓ 毎年約40店舗を退店。

既存店100%を維持しながら
出店による+αを積み上げる。

○ ムリ・ムダ・ムラの徹底排除

○ 「単純化」「標準化」⇒マニュアル化



- ✓ パート・アルバイトを中心とした運営
- ✓ スーパーバイザーが複数の店舗を担当
- ✓ 作業よりも接客に力を入れた店舗運営

小規模店舗でも利益の出る体質を強化し、
多店舗展開を可能にする運営力を身につける



ローコスト出退店、ローコスト・オペレーション
で生み出した利益を、お買い得な商品の開発へ



商品戦略 — お買い得な実生活雑貨 —

WATTS
株式会社ワッツ



品質（安全・安心してお使い頂ける商品）にこだわったワッツが自信をもってオススメする商品。それが「ワッツセレクト」です。

台所用品、掃除用品、衛生用品、レジャー用品等の実生活雑貨を中心に2010年8月期から開発を進め、2013年8月期末までに**211**アイテムを完成。



引き続き開発を進め、お買い得な商品を提供してまいります。

—いい商品を安く売る仕組み—

ローコスト出退店
ローコスト・オペレーション

経費を抑えた運営により、「**高品質な**」
原価が高い商品を提供しても利益が出る

「ローコスト」運営により、**利益体質を
強化**、新たなM&Aへの投資へ

商品力は店舗の魅力を高め、
新たなM&Aのチャンスを生む。
M&Aにより会社の規模が拡大、
仕入のスケールメリットが生まれる。

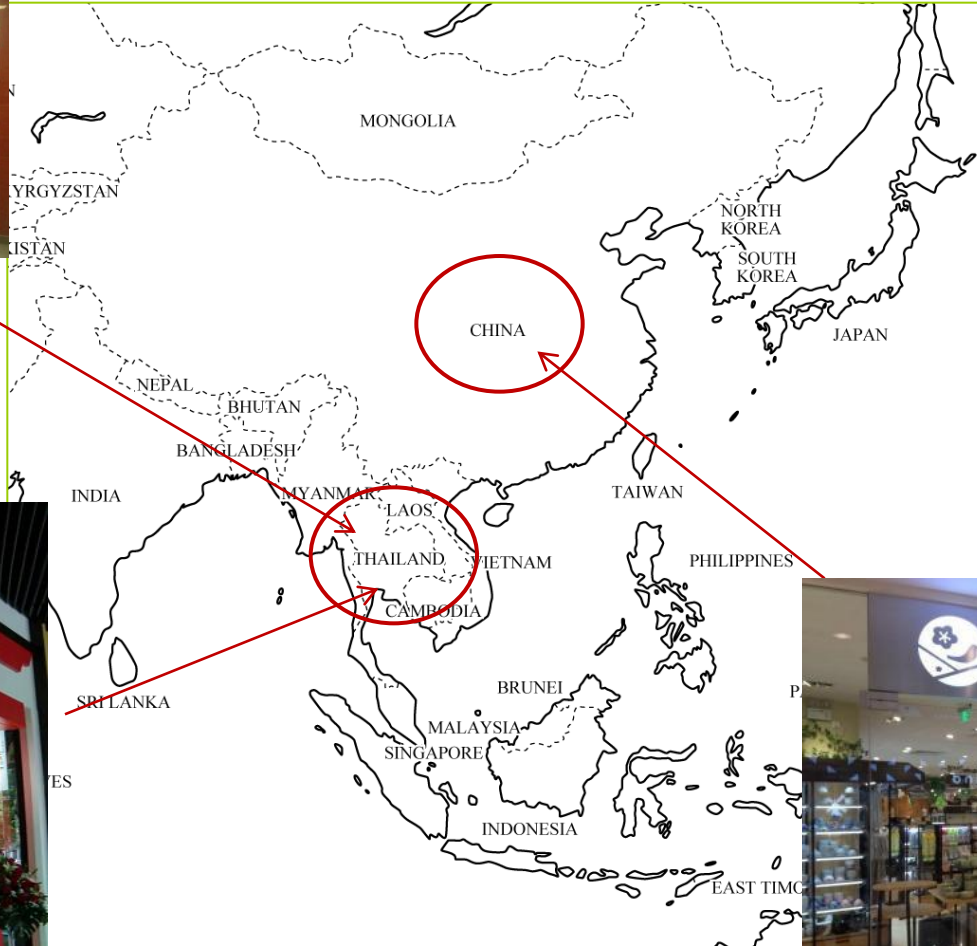
いい商品を
安く売る仕組み

お買い得な
実生活雑貨

企業規模
の拡大

お客様の満足

海外戦略

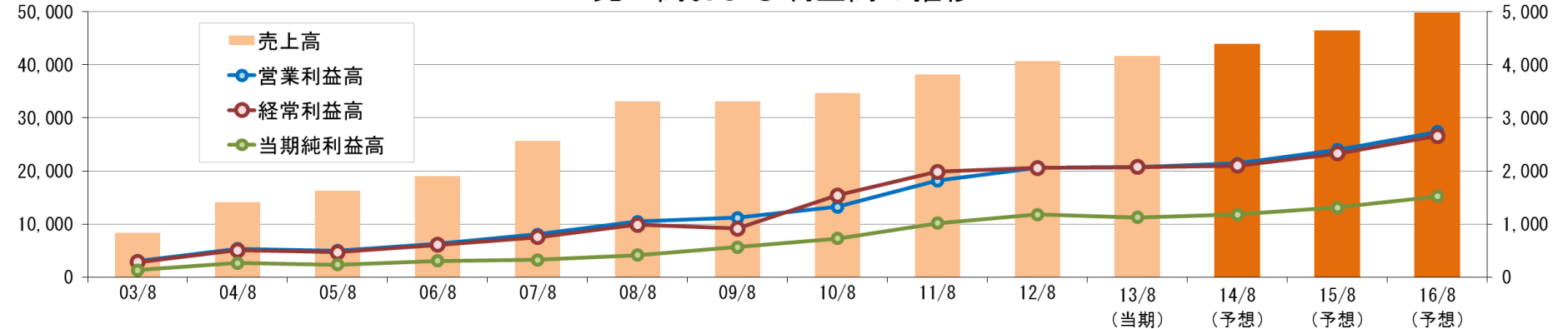


中期事業計画 — 3ヶ年業績予想 —

売上高 (百万円)

売上高および利益高の推移

利益高 (百万円)



(単位: 百万円)

	2012年8月期(実績)			2013年8月期(実績)			2014年8月期(予想)			2015年8月期(予想)			2016年8月期(予想)		
		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比
売上高	40,759	—	106.7%	41,725	—	102.4%	44,000	—	105.5%	46,470	—	105.6%	49,870	—	107.3%
売上総利益	15,591	38.3%	107.4%	15,981	38.3%	102.5%	16,800	38.2%	105.1%	17,890	38.5%	106.5%	19,310	38.7%	107.9%
営業利益	2,056	5.0%	113.1%	2,074	5.0%	100.9%	2,140	4.9%	103.1%	2,400	5.2%	112.1%	2,740	5.5%	114.2%
経常利益	2,055	5.0%	103.5%	2,075	5.0%	101.0%	2,100	4.8%	101.2%	2,330	5.0%	111.0%	2,660	5.3%	114.2%
当期純利益	1,177	2.9%	115.6%	1,123	2.7%	95.4%	1,180	2.7%	105.0%	1,310	2.8%	111.0%	1,520	3.0%	116.0%
ROE	22.2%		—	16.6%		△ 5.6ポイント	14.4%		△ 2.2ポイント	14.2%		△ 0.2ポイント	14.5%		0.3ポイント
計画前提															
100円ショップ 期末店舗数(店)	822	—	—	901	79	—	960	59	—	1,019	59	—	1,078	59	—
100円ショップ 既存店伸び率	100.5%	—	—	99.5%	△ 1.0ポイント	—	100.0%	0.5ポイント	—	100.0%	0.0ポイント	—	100.0%	0.0ポイント	—
新業態 期末店舗数(店)	24	—	—	28	4	—	46	18	—	70	24	—	98	28	—
新業態 売上シェア	6.5%	—	—	6.5%	0.0ポイント	—	6.6%	0.1ポイント	—	8.3%	1.7ポイント	—	11.8%	3.5ポイント	—
うち海外事業 期末店舗数(店)	8	—	—	10	2	—	20	10	—	36	16	—	56	20	—
海外事業 売上シェア	0.6%	—	—	0.9%	0.3ポイント	—	1.4%	0.5ポイント	—	2.9%	1.5ポイント	—	4.4%	1.5ポイント	—



目次

2013年8月期 連結決算について

P 2 – P 15

2014年8月期業績予想及び
中期事業計画(2014年～2016年)について

P 17 – P 28

(参考資料)

P 30 – P 42

(参考資料)

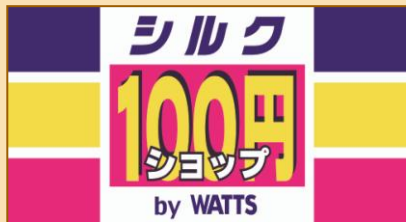
1. ワッツブランド
2. 会社概要
3. 業界動向 業界ポジショニング
4. 業界動向 市場規模
5. 業界動向 指標比較
6. 当社の歩み
7. 新業態 概要
8. ワッツセレクト 売れ筋 TOP3
9. ワッツセレクト イチオシ商品
10. 株主構成
11. 配当政策
12. 株主優待制度の導入



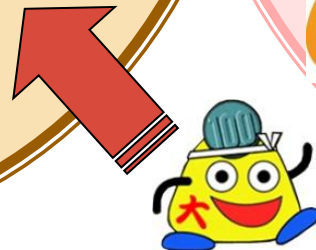
1. ワッツブランド



100円ショップ事業



新業態



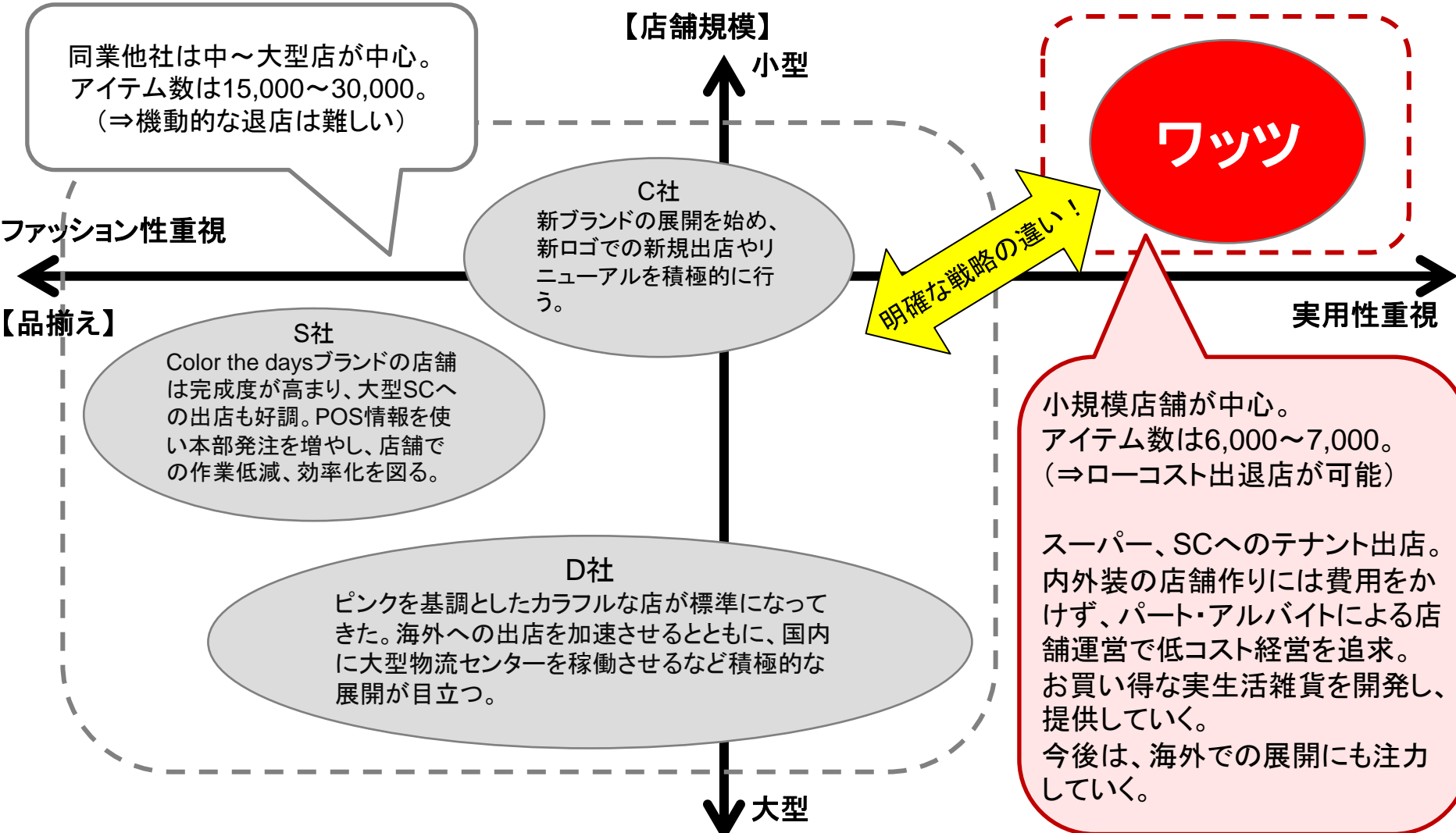
※2013年6月、「株式会社大専」を株式取得により100%子会社といたしました。



2. 会社概要

設立	1995年2月22日（※ 2013年度は第19期）
社名の由来	おもろいことを「ワッツ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード:2735)
資本金	4億4,029万円(13/2/28現在)
本社所在地	大阪府大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に100円ショップ「ミーツ」、「シルク」の運営)
グループ従業員数	2,501名(13/8/31現在) ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	929店(13/8/31現在) ※新業態等を含む

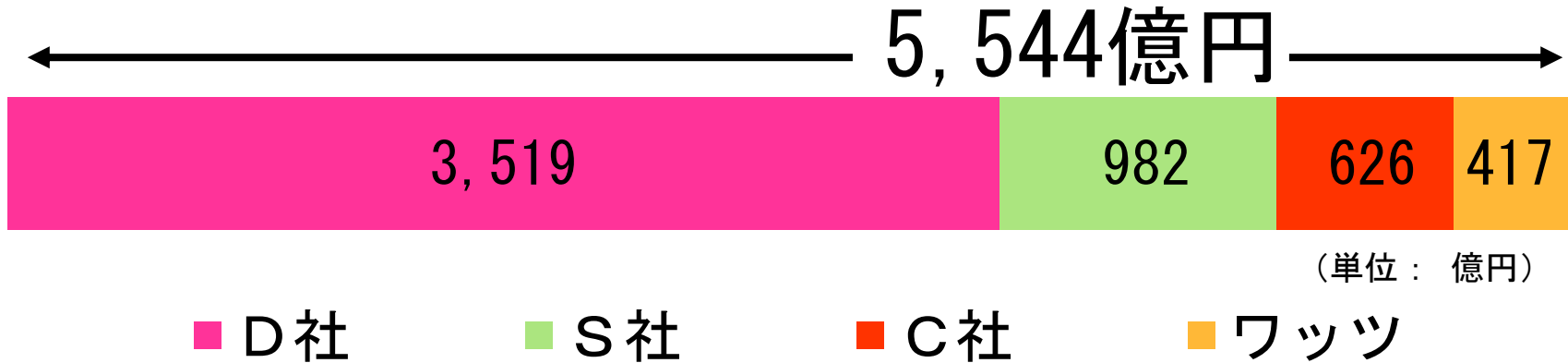
業界ポジショニング —他社比較—



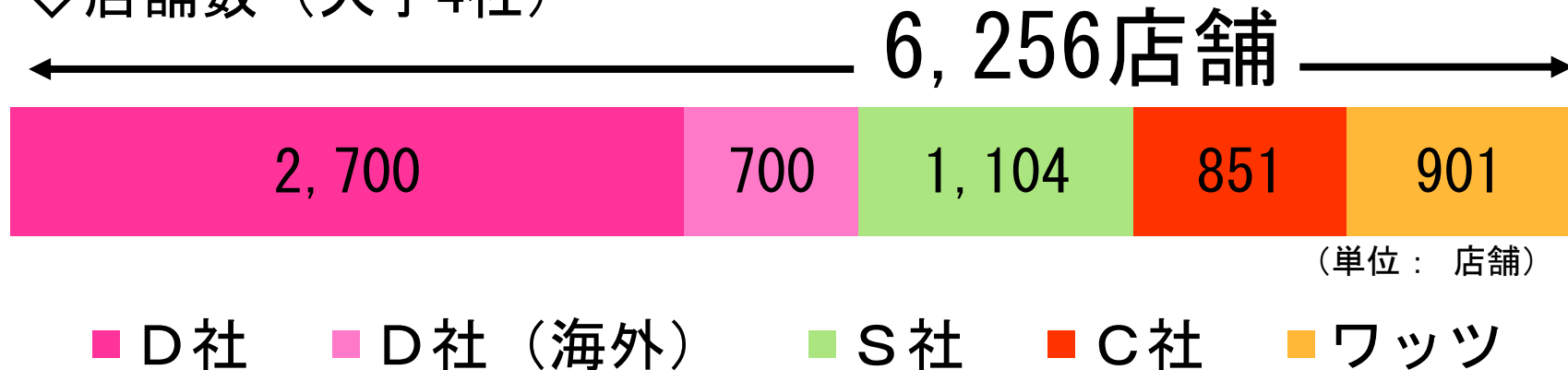
※参考資料: 各社のホームページ、新聞、決算短信等より当社にて独自に作成したものであります。

4. 業界動向 — 市場規模 —

◇売上高（大手4社）



◇店舗数（大手4社）



※参考資料：各社のホームページ、新聞、決算短信等より当社にて独自に作成したものであります。



5. 業界動向 — 指標比較 —

	ワッツ	C社	S社
株価(10/9終値)	958円	1,650円	3,270円
時価総額(10/9現在)	133億円	276億円	1,239億円
営業利益率	5.0%	3.5%	8.5%
ROE	16.6%	9.5%	24.8%
PER	10.3倍	25.5倍	24.1倍
配当利回り	1.77%	0.91%	0.46%

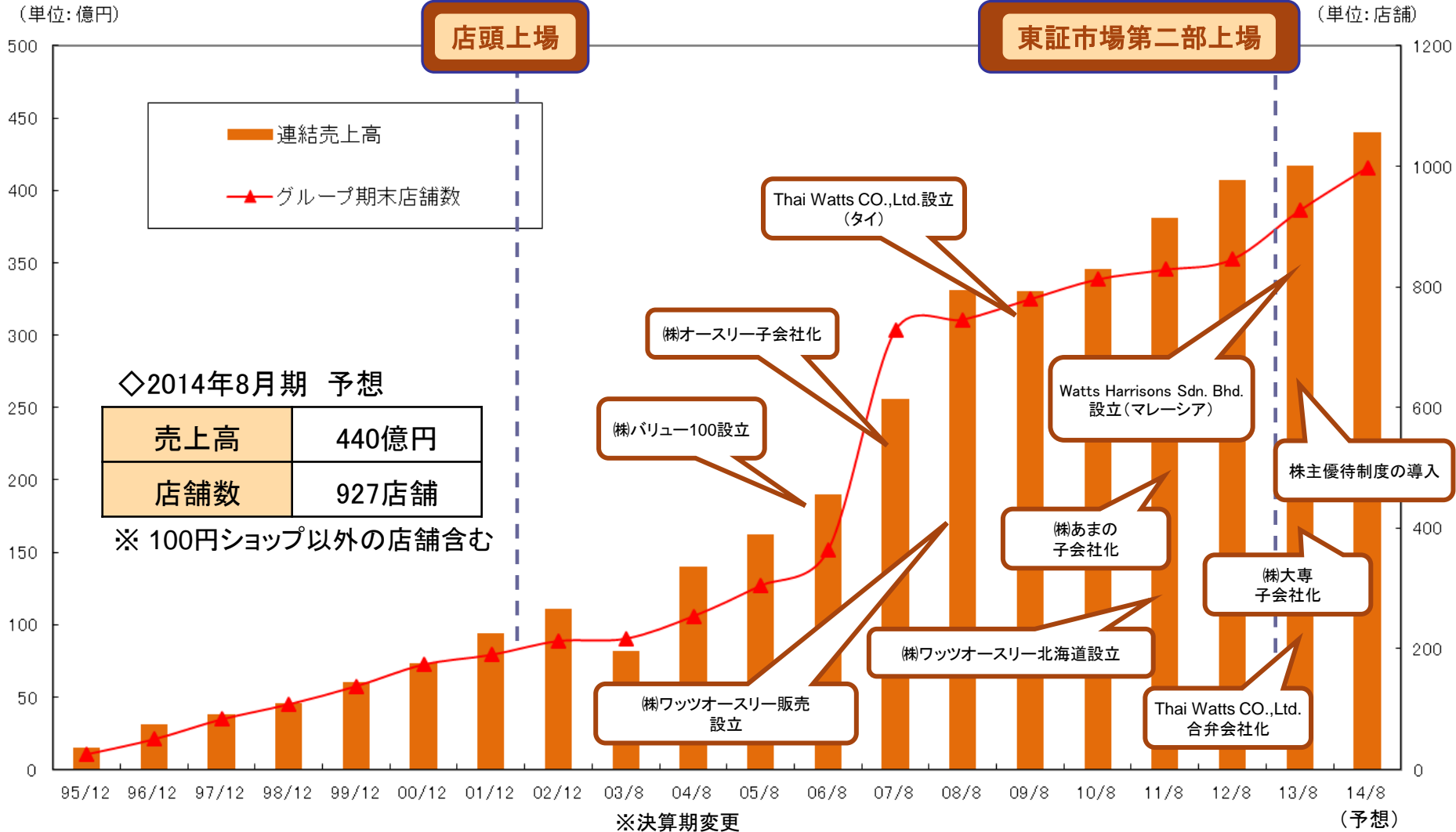
※参考資料: 各社のホームページ、新聞、決算短信等より当社にて独自に作成したものであります。



6. 当社の歩み

2002年5月14日

2013年8月20日



7. 新業態 一概要一



—バンコクでの雑貨販売—
使い心地のいい和雑貨のある
生活を提案
8店舗 (13/8月末)

—ナチュラル雑貨販売—
Buona Vita=心地よい生活
を提案
17店舗*FC2店舗含む (13/8月末)

新業態



—バリュー100—
小規模店舗で価格競争力のある
食品と100円雑貨を提供
1店舗 (13/8月末)

—ナチュラルエレガント雑貨の輸入卸—
3店舗 (13/8月末)

8. ワッツセレクト ー売れ筋 TOP3ー

第1位 フローリング用水拭き雑巾がけシート



30枚入

第2位 紙コップ



50個入

第3位 極厚除菌アルコールウェット



24枚入

9. ワッツセレクト ーイチオシ商品ー

1

60m ポリエチレンラップ



品質(安全・安心してお使い
頂ける商品)にこだわった、
ワッツが自信をもってオスス
メするお買得商品。

2

折りたたみ角ハンガー24P パールブルー

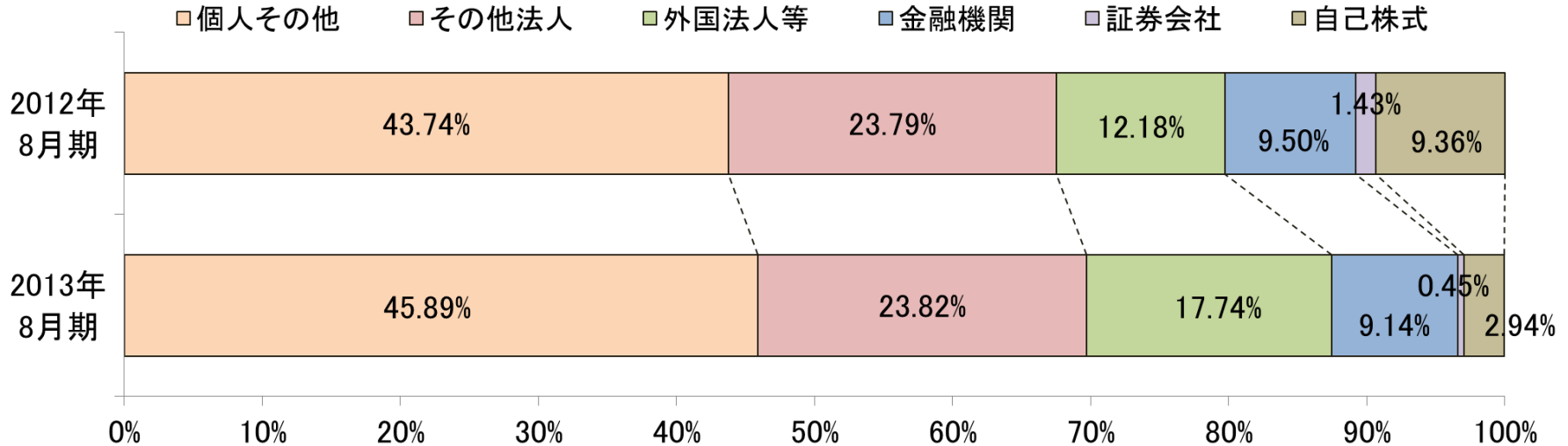


3

アルカリ乾電池 増量6本セット(単3形、単4形)



10. 株主構成



	2012年8月期	2013年8月期	前年比
発行済株式総数	6,979,400株	13,958,800株	6,979,400株
株主数	1,772	3,759	1,987
所有比率			
個人その他	43.74%	45.89%	2.15ポイント
その他法人	23.79%	23.82%	0.03ポイント
外国法人等	12.18%	17.74%	5.56ポイント
金融機関	9.50%	9.14%	△ 0.36ポイント
証券会社	1.43%	0.45%	△ 0.98ポイント
自己株式	9.36%	2.94%	△ 6.42ポイント

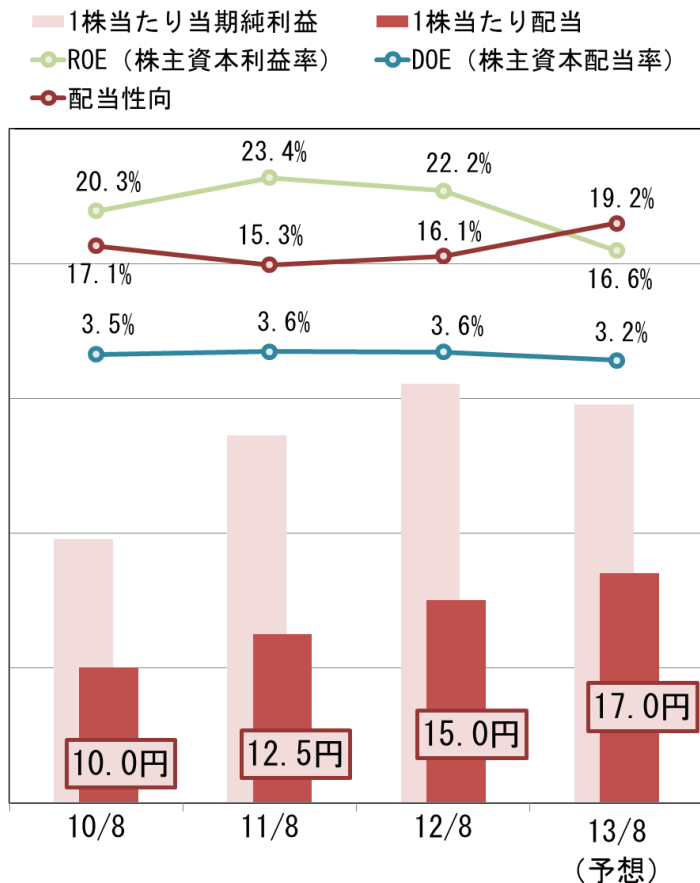
✔ 平成25年3月1日付にて1:2の株式分割を実施したため、株式数が増加しております。

✔ 株主数が前期比大幅に増加しております。理由といたしましては、上記株式分割、株主優待制度の導入、平成25年8月に実施した自己株式の処分等が考えられます。

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

11. 配当政策

ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2010年 8月期	2011年 8月期	2012年 8月期	2013年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	58.62円	81.84円	93.31円	88.63円
1株当たり配当	10.00円	12.50円	15.00円	17.00円
配当性向	17.1%	15.3%	16.1%	19.2%
配当利回り	4.0%	3.1%	3.0%	1.9%
ROE (株主資本利益率)	20.3%	23.4%	22.2%	16.6%
DOE (株主資本配当率)	3.5%	3.6%	3.6%	3.2%

※ 平成25年3月1日付、1:2の株式分割を実施しているため、1株当たり当期純利益および1株当たり配当は遡及修正後の数値を記載

12. 株主優待制度の導入

平成25年8月31日を基準日として、
株主優待制度を導入しました。



株主の皆様からの日頃のご支援に感謝し、当社の商品を身近に感じていただくとともに、当社株式の魅力を高め、より多くの株主様に当社の株式を保有いただくことを目的として株主優待制度を導入しました。



内 容	保有株式数	
	100株以上1,000株未満	1,000株以上
当社プライベートブランド商品 「ワッツセレクト」詰め合わせ	10点	20点

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 福光 宏(取締役管理本部長)

e-mail : ir@watts-jp.com

TEL : [06-4792-3280](tel:06-4792-3280)